

令和元年度 学校評価集計結果

山形市立商業高等学校

令和2年1月に実施した学校評価の結果は次のとおりです。

- 1 評価者 (1) 本校教職員 (教育職常勤以上) (2) 保護者
 2 評価段階 5 全くそう思う 4 そう思う 3 どちらともいえない
 2 そう思わない 1 全くそう思わない

3 評価結果

(1) 本校教職員 (教育職常勤以上 管理職を除く) 5 3名回答 [98%]

<学校運営に関する評価>

項目	No.	評価規準	評価段階分布					平均 ()は30年度
			5	4	3	2	1	
教育目標	1	教育目標は、校長の教育方針や教育理念を踏まえたものになっている。	9	30	11	0	1	3.9 (4.4)
	2	教育目標は、生徒や学校の実態を踏まえたものになっている。	11	29	9	2	1	3.9 (4.4)
経営方針	3	経営方針は、教育目標に基づいて設定されている。	9	31	11	2	0	3.9 (4.4)
	4	経営方針に基づき、教職員の協力による円滑な学校運営がなされている。	6	26	16	5	0	3.6 (4.2)
重点目標	5	重点目標は、経営方針に基づき、前年度の教育活動の成果と課題を踏まえて設定されている。	9	32	8	4	0	3.9 (4.3)
	6	重点目標は、学校の実態に即した具体的なものになっている。	8	31	12	2	0	3.9 (4.3)
組織運営	7	校務分掌組織は学校の課題や実態を踏まえて編成され、有機的に機能している。	5	15	26	7	0	3.3 (3.7)
	8	個々の生徒や担任の抱える問題を取り上げ、学校全体で取り組んでいる。	5	27	16	4	1	3.6 (3.8)

項目	No.	評価規準	評価段階分布					平均 ()は30年度
			5	4	3	2	1	
組織運営	9	各種委員会は、学校の課題や実態を踏まえて設置されている。	5	28	18	1	1	3.7 (3.9)
	10	職員会議は、情報交換・共通理解・課題検討の場として有効に機能している。	7	24	17	5	0	3.6 (3.9)
管理職の 指導体制	11	学校運営は、校長のリーダーシップの下で円滑に行われている。	3	23	16	8	2	3.3 (4.3)
	12	管理職は、教職員が職務に責任をもち、意欲的に仕事ができる環境を整えることに努力している。	3	23	14	9	2	3.3 (4.2)
施設設備	13	施設・設備の適切な整備及び保全を図っている。	3	28	11	11	0	3.4 (3.6)
	14	施設・設備の使用後の整理や管理を適切に行っている。	3	28	13	9	0	3.5 (3.7)
研究 ・研修	15	校内研修は、教育目標を実現するため、学校の実態や課題を踏まえた意義あるものになっている。	0	23	22	6	2	3.3 (3.8)
家庭との 連携	16	学校と家庭の連携を緊密なものとし、生徒一人ひとりの理解に努めている。	5	36	11	1	0	3.9 (4.0)
	17	P T A活動を充実したものとするため、努力や工夫をしている。	2	30	19	2	0	3.6 (3.9)
教職員の 姿勢	18	生徒の実態を把握し、個に応じた教科指導や生徒指導を心がけ、指導方法に創意工夫をこらしている。	10	31	10	1	0	4.0 (3.9)
	19	生徒の進路希望を実現するため、誠意をもって取り組んでいる。	19	30	3	1	0	4.3 (4.3)

項目	No.	評価規準	評価段階分布					平均 ()は30年度
			5	4	3	2	1	
危機管理	20	災害や事故防止のための管理体制が整っており、組織的に機能している。	5	27	18	2	1	3.6 (3.7)
	21	非行やいじめなどの問題行動を予防するため、普段から生徒の状況を把握している。	2	31	10	1	0	3.6 (3.9)
	22	教育相談に対する共通理解があり、生徒の心のケアに意欲的に取り組んでいる。	9	29	14	1	0	3.9 (4.0)
	23	生徒の問題行動及び心の健康に関して、家庭と連携を図り、協力して改善策を講じている。	8	33	11	1	0	3.9 (4.1)

<教育活動に関する評価>

項目	No.	評価規準	評価段階分布					平均 ()は30年度
			5	4	3	2	1	
教育課程	24	教育課程は、生徒や学校の現状を踏まえ、特色ある学校づくりを目指した編成になっている。	6	33	14	0	0	3.9 (4.0)
学習指導	25	生徒の実態を踏まえ、教科内で十分話し合い共通理解を図った上で、教科の目標を作成している。	9	37	6	1	0	4.0 (4.1)
	26	生徒の学力や興味・関心などの実態を踏まえ、教材の配置及び研究に努めている。	7	40	6	0	0	4.0 (4.1)
	27	基礎的・基本的な内容が身に付くよう、指導内容の重点化や教材の精選・工夫に努めている。	12	38	3	0	0	4.2 (4.1)
	28	生徒一人ひとりの学力を高めるため、個に応じた指導を実践している。	6	32	14	1	0	3.8 (3.9)
	29	教科指導の効果を高めるため、コンピュータ・視聴覚教材・教具等の教育機器の活用に努めている。	15	31	4	3	0	4.1 (4.1)

項目	No.	評価規準	評価段階分布					平均 ()は30年度
			5	4	3	2	1	
学習指導	30	生徒が意欲的に取り組む授業を展開するため、生徒が主体的に参加できるよう、指導方法を工夫している。	8	34	11	0	0	3.9 (3.9)
	31	家庭学習に取り組ませるため、課題や予習に関して適切に指示している。	5	31	15	2	0	3.7 (3.8)
	32	学習指導をとおして、生徒との信頼関係が深まる授業を行っている。	5	36	12	0	0	3.9 (3.9)
	33	指導内容や指導方法について、教科会等で検討し、その内容を次年度に生かしている。	3	37	13	0	0	3.8 (3.9)
	34	評価の方法や手順について教科内で話し合い、共通理解を図ったうえでやっている。	8	34	10	1	0	3.9 (4.0)
生徒指導	35	生徒指導の具体的な方法について共通理解を図り、指導に不統一が生じないようにしている。	5	26	17	3	0	3.7 (3.8)
	36	家庭との連携を図り、生徒の基本的な生活習慣の確立に努めている。	6	29	17	1	0	3.8 (4.0)
進路指導	37	進路指導の具体的な方法について共通理解を図り、一貫した指導を行っている。	14	29	9	1	0	4.1 (4.1)
	38	生徒一人ひとりの能力・適性を生かし、自己実現が図れるように指導を行っている。	12	36	5	0	0	4.1 (4.2)
特別活動等	39	学校行事は、生徒がその意義を理解し自主的に参加できるよう、全校的な協力体制のもとで円滑に運営されている。	9	36	7	1	0	4.0 (4.1)
	40	部活動は、教師と生徒及び生徒相互の信頼関係に基づき、活発に行われている。	11	32	9	1	0	4.0 (4.2)

項目	No.	評価規準	評価段階分布					平均 ()は30年度
			5	4	3	2	1	
特別支援教育	41	支援を要する生徒を把握し、適切な指導及び必要な支援を行うための体制が確立している。	7	29	16	1	0	3.8 (3.9)
安全教育	42	交通マナーに関する指導や怪我防止・不審者への対処法等、安全教育を適切に行っている。	2	32	16	3	0	3.6 (3.7)
国際理解教育	43	関係機関等との連携を図り、国際理解教育を推進している。	2	31	19	1	0	3.6 (3.9)

<評価の高かった項目>

4. 3

19 生徒の進路希望を実現するため、誠意をもって取り組んでいる。

4. 2

27 基礎的・基本的な内容が身に付くよう、指導内容の重点化や教材の精選・工夫に努めている。教育目標は、校長の教育方針や教育理念を踏まえたものになっている。

4. 1

29 教科指導の効果を高めるため、コンピュータ・視聴覚教材・教具等の教育機器の活用に努めている。

37 進路指導の具体的な方法について共通理解を図り、一貫した指導を行っている。

38 生徒一人ひとりの能力・適性を生かし、自己実現が図れるように指導を行っている。

4. 0

18 生徒の実態を把握し、個に応じた教科指導や生徒指導を心がけ、指導方法に創意工夫をこらしている。

25 生徒の実態を踏まえ、教科内で十分話し合い共通理解を図った上で、教科の目標を作成している。

26 生徒の学力や興味・関心などの実態を踏まえ、教材の配置及び研究に努めている。

39 学校行事は、生徒がその意義を理解し自主的に参加できるよう、全校的な協力体制のもとで円滑に運営されている。

40 部活動は、教師と生徒及び生徒相互の信頼関係に基づき、活発に行われている。

<評価の低かった項目>

3. 3

7 校務分掌組織は学校の課題や実態を踏まえて編成され、有機的に機能している。

11 学校運営は、校長のリーダーシップの下で円滑に行われている。

- 12 管理職は、教職員が職務に責任をもち、意欲的に仕事ができる環境を整えることに努力している。
- 15 校内研修は、教育目標を実現するため、学校の実態や課題を踏まえた意義あるものになっている。

3. 4

- 13 施設・設備の適切な整備及び保全を図っている。

(2) 保護者 752名回答 [89.8%]

項目	No.	評価規準	評価段階分布					平均 ()は30年度
			5	4	3	2	1	
学校運営	1	学校は、生徒一人ひとりを伸ばす教育活動を実践している。	97	405	200	31	11	3.7 (3.8)
	2	生徒の実態を踏まえ、校風や伝統を生かした学校づくりが推進されている。	132	427	152	27	7	3.9 (3.9)
施設・設備	3	学校は、生徒の学習活動や部活動を保証する施設や設備を持ち、適切な整備及び保全を図っている。	87	289	230	113	29	3.4 (3.5)
家庭との連携	4	学校は、生徒一人ひとりを理解するため、学校と家庭との連携を図っている。	68	263	297	97	20	3.3 (3.5)
	5	学校は、保護者への連絡や情報提供を適切に行っている。	97	362	219	53	17	3.6 (3.7)
	6	学校には保護者から気軽に相談できる雰囲気があり、電話や来校の際、丁寧に対応している。	118	322	248	46	14	3.6 (3.7)
学習指導	7	学校は、生徒に分かりやすい教科指導を行っている。	83	359	257	37	12	3.6 (3.7)
	8	学校は、課題や予習に関する指示を適切に行い、生徒は家庭での学習に取り組んでいる。	92	346	247	52	13	3.6 (3.6)
生徒指導	9	学校は、生徒・保護者との相談を適切に行い、問題行動の予防に努めている。	95	347	259	30	13	3.6 (3.7)

進路指導	10	学校は、生徒の適性・希望に応じた進路指導を行っている。	131	366	200	39	10	3. 8 (3. 8)
特別活動等	11	生徒は、学校行事・部活動・生徒会活動等に積極的に参加している。	256	380	85	21	4	4. 2 (4. 1)

<評価の高かった項目>

4. 2

11 生徒は、学校行事・部活動・生徒会活動等に積極的に参加している。

3. 9

2 生徒の実態を踏まえ、校風や伝統を生かした学校づくりが推進されている。

<評価の低かった項目>

3. 3

4 学校は、生徒一人ひとりを理解するため、学校と家庭との連携を図っている。

3. 4

3 学校は、生徒の学習活動や部活動を保証する施設や設備を持ち、適切な整備及び保全を図っている。